

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|-----------|---|--|
| 1 施設名 | 仙台市宮城野児童館 | |
| 2 指定管理者 | 社会福祉法人宮城厚生福祉会 | |
| 3 指定期間 | 令和2年4月1日～令和7年3月31日 | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 ・令和5年度 29,643人(前年度比 96.9%) ・令和4年度 30,589人 ・令和3年度 29,434人 | |
| | 《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 57,059千円 (49,455千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) | |
| | 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) | |
| 6 利用者の声 | 《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。 | |

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | 33/33 |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 | 30/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | 名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 | 18/18 |

三 評価総括

| 《指定管理者（社会福祉法人宮城厚生福祉会）による自己評価》 |
|--|
| <p>当年度は地域・乳幼児親子さんや支援の方との繋がりを強め、利用者の方・子どもたちの要望に応えられる児童館運営に努めた。児童健全育成事業では、乳幼児親子の来館も増え、ママ友を誘ってくれる好循環となった。職員も話しやすい雰囲気を作り相談や要望も多く寄せられた。中高生支援では、卒業した高校生が小学生に囲碁を指導してくれたりバドミントンを楽しんだりする姿が見られた。隣の仙台工業建築倶楽部の皆さんと相談して作ってもらった木製ベンチが子どもに大人気で、クラブ活動実践の場となった。また、同校2年生の家庭科授業で館長が児童館の役割や職員のやりがいを紹介した。子育て家庭支援事業では、幼児クラブ・子育てサロン・カレンダー配付を定例で実施した。同じ法人の保育士や保健師・歯科衛生士による子育て相談も好評で、外部機関につながる場合もあった。保護者の要望から初めて行った、わらべ歌・乳幼児救命救急講習は好評で再度行った。地域交流推進事業では、館だよりを町内会、学校・保育施設、行政機関等に広く配布したり、HP・ミニチラシ・乳幼児メールで広報活動を行ったりした。こまめなブログ更新でも活動を知らせた。今年も二つの高齢者施設に活動を伝えるDVDを子どもと届け、喜んでもらった。仙台工業プラスバンドのコンサートに招待してもらい親子で楽しむこともできた。また、卸町や原町の商店会さんには今年も子どもたちの発表の場を提供してもらった。放課後児童健全育成事業では、職員の特技を生かし土ねんど・絵画・短歌・折り紙・手芸・囲碁を行い、多くの参加があった。また、子どもたちの話し合いを重視しルールを決めたり、おもちゃや本を充実させたりしてきた。4年ぶりに復活させた児童館まつりでは、多くの保護者・学生ボランティアの協力もあり大いに盛り上がった。これらの活動によって、児童館の応援団がさらに広がり、子ども達が楽しい経験をすることができた。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>児童健全育成事業においては、毎週土曜日に地域ボランティアの協力をいただいて囲碁教室を実施している。中高生も継続的に参加しており、高校生が講師役になって小学生に囲碁を教えるなど異年齢交流の場にもなっている。また、七夕飾り作りや季節の折り紙などの造形遊びを定期的で開催し、子ども達の豊かな感性を育てている。中高生タイムでは、バドミントンを楽しむ姿なども多く見られ、仲間作りの場や居場所作りに積極的に取り組んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブや申込制の子育てサロンを定期的の実施している。野菜スタンプ遊びや近隣公園への散歩、乳幼児向け救命講習やベビーフォトなど保護者のニーズに合わせた多彩なプログラムを提供し、地域における情報共有や仲間作りをするための交流の場になっている。また、区の保健師や栄養士、保育士の協力を得て子育て相談も開催し、地域の関係者と積極的に連携を図りながら、子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、子ども達が日ごろから楽しんでいる遊びを商業施設の文化祭や商店街の路上パフォーマンスで披露し、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りや児童館の認知度向上に努めている。また、近隣の保育園と定期的に交流したり、高校に児童館事業を紹介する機会を設けるなど、地域交流を積極的に展開している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、職員の特技を生かした短歌、塗り絵など多様な遊びを工夫して提供している。「子ども会議」「上学年子ども委員会」を定期的の実施して子ども達の意見を遊びや行事に取り入れるなど、企画の段階から子どもの意見を反映させる機会を設けて、様々な発達過程にある子どもが主体的に運営に関わるよう工夫している。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課